

## 「啓発者のための人権勉強会」(令和2年度事業)

# 開催募集要項

啓発の基本的技術を磨き、人権問題を深く理解するのに役立つ理論や概念を学ぶ、啓発者のための人権勉強会です。人権学習会等を企画・運営したり、講師を務めたりしている方（人権啓発担当課職員、人権教育推進員、隣保館職員、教員、その他）が対象です。

当センター職員が各地に出かけ、参加者が選んだテーマで開催することで、参加者の啓発力のさらなる向上をサポートします。ミニ講義をベースに自由な意見交換等を組み合わせ、少人数で行いますので、素朴な疑問や率直な意見を自由に出し合い学べます。

学習テーマ (右から選択) ※裏面参照	① 改めて、人権って何だろう？ - 憲法と世界人権宣言を中心に - ② 自己肯定感のギモン - 何がそんなに大切？ どう育む？ 人権問題との関係は？ - ③ 自他を大切にするコミュニケーション - アサーション(非攻撃的自己表現) - ④ 人権問題はなぜ起こる？ - 社会的多数者/少数者の関係から見てみよう - ⑤ フツウの人が無意識に行う日常的な差別(マイクロアグレッション)とは？ ⑥ ワークショップの効果とファシリテーターの役割(基礎編) ⑦ 講演力 - 効果的なスピーチとスライド使用の基本 - [実技練習] ⑧ その他(啓発内容についての課題・疑問)※具体的内容は要相談
参加人数	3人以上 20人以下
進め方	講義、演習、ワークショップ、意見交換等を組み合わせて行います。
スタッフ	[ミニ講義] 尾崎真理子(当センター上席専任研究員) [進行者] 岡研司(当センター専任研究員)
所要時間	1回 2~3 時間程度 1団体・グループの利用は 3 回までとします。
会場	開催希望団体・グループのある市町村内 または鳥取県立人権ひろば21“ふらっと”の会議室(鳥取市扇町 21 番地)
費用	無料。ただし、備品や機器、消耗品の一部について準備をお願いすることがあります。 ※当センター職員の謝金や交通費は不要です。
開催時期	令和2年8月~令和3年2月末 ※他所との開催希望時期の重なりや当センターの他事業の都合によって、調整させていただきます。
申し込み	[申込・問合せ先] 鳥取県人権文化センター(担当:尾崎・岡) TEL 0857-21-1712 FAX 0857-21-1714 Eメール osaki-m@tottori-jinken.org [申込期限] 令和2年8月31日(月)
備考	新型コロナウイルス感染防止について ・会場の感染防止策(換気、参加者の距離確保、消毒液の設置等)にご協力ください。 ・参加者にはマスクの着用と手洗いの励行等をお願いします。 ・感染拡大の状況によっては開催を中止することがありますのでご了承ください。

《参考》

選択テーマ	基本の内容 ※要望に応じて調整します
① 改めて、人権って何だろう？ －憲法と世界人権宣言を中心に－	人権教育・啓発の大前提、「人権」の基本を理解します。 ・人権とはなにか ・人権の具体的中身 ・人権の成立過程と今後 ・権利と義務の関係性 ・人権に関する国内外法の関係 他
② 自己肯定感のギモン －何がそんなに大切？どう育む？ 人権問題との関係は？－	自己肯定感について、既存の理論を元に議論します。 ・自己肯定感とはなにか ・自己肯定感の育まれ方 ・自己肯定感の高低が及ぼす影響 ・自己肯定感と人権啓発の場の関わり方
③ 自他を大切にすることをコミュニケーション －アサーション(非攻撃的自己表現)－	人権尊重の基本姿勢に深く根ざすアサーションの理論を理解し、演習によって実践力を養います。 ・アサーションとはなにか ・成り立ちの歴史(非抑圧者のエンパワメント) ・自分のコミュニケーションの傾向を探る ・アサーティブな表現の演習
④ 人権問題はなぜ起こる？ －社会的多数者／少数者の関係から見てみよう－	人権問題はなぜ起こるのか、その背景をP・マッキントッシュの「特権」理論を元に理解します。また、社会的多数者と少数者との間の抑圧・排除の力学に気づき、問題解決に向かう方法を議論します。 ・特権とはなにか ・特権の具体例 ・特権が生まれる背景と多数者が特権を否定したい理由 ・特権をなくすために何ができるか(アライの重要性)
⑤ ツーの人が無意識に行う日常的な差別(マイクロアグレッション)とは？	ごくフツーの個人が、自覚なく日常的に行ってしまう差別、「マイクロアグレッション」。その具体例やパターンを理解し、啓発の場での取り上げ方について議論します。 ・マイクロアグレッション(微細な攻撃)とはなにか ・具体例とパターン ・マイクロアグレッションが起こす被害 ・啓発の場での取り上げ方(期待される効果と限界、留意点)
⑥ ワークショップの効果とファシリテーターの役割(基礎編)	自他が尊重される場で、学習者が体験を通して考えることで、自己変革につながる学びをめざすワークショップ。その特徴を理解し、最大限の学習効果を生むためのファシリテーター(司会進行役)の役割について議論します。 ・ワークショップの特徴を理解する体験(主に未経験者対象) ・ワークショップで起こりがちな問題の原因や対応策についての議論(主にファシリテーター経験者対象)
⑦ 講演力 －効果的なスピーチとスライド使用の基本－ [実技練習]	講演の講師には、話す力とパワーポイントのスライド等を効果的に使う力が必要です。これらの基本ポイントと具体的なテクニックを理解し、実技を通して実践力を磨きます。 ・伝わるスピーチの基本 ・理解を助けるスライドの基本 ・実技とフィードバック
⑧ その他 (啓発内容についての課題・疑問)	上記以外のテーマで行います。詳しくはご相談ください。 ※テーマによってはご希望に添えないこともあります。

# 申込用紙

【申込期限：8月31日(月)】

FAX番号:0857-21-1714

※電子メール([osaki-m@tottori-jinken.org](mailto:osaki-m@tottori-jinken.org))に下記の項目を送信いただいても結構です。

次の項目について、現在決まっている範囲(予定)でお書きください。

後ほど当センターよりご担当者様に連絡し、詳細について相談させていただきます。

開催を希望する 団体・組織の名称			
ご担当者	お名前		
	連絡先	(電話番号)	(メールアドレス)
参加者	人数		
	役職等		
学習テーマ		(希望する学習テーマの番号) ※⑧の場合は具体的内容もお書き下さい。	
希望の開催時期、 回数および時間			
希望の会場			
その他		(その他のご希望、注意事項などあればお書きください)	